



プロジェクト名称

団地サテライトラボ

プロジェクト活動概要

本プロジェクトでは、学生たちが主体的に活動を行う場所の提供や活動自体の支援を行うことを目的としており、団地にサテライトラボを設置することで学生たちが大学以外でフィールドワークを行う支援をしていきたいと考えている。

昨年度までは UR 住宅団地の高齢者を対象に体操やウォーキング活動を行い、外出促進させることで健常で自立した生活を送る高齢者を増やすことが出来た。また、そういった活動で UR 住宅団地の方々より密なつながりを作ることができ、活動の基盤を作ることが出来た。

今年度からは学外活動と団地全体の活性化の手助けとすることで、団地に住んでいる方々と芝浦工業大学生をつなげていく。サテライトラボを活用してもらうことで簡単にコミュニケーションを図ることができ、今まで以上に団地住民の方と学生が密接に関わるため、良い関係性を築き上げていくことができる。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2014 年 6 月 12 日～ 9 月 30 日

昨年度の活動では、第一期としてサテライトラボの設置や団地住民と一緒に活動を行うことで、信頼関係を築き、活動の基盤づくりを行ってきた。今年度は、これまでの活動に加えて「学生の学外活動の支援」、「団地住民と学生のつながりづくり」、の2点に力を入れて活動した。

1、学生の学外活動の支援

○団地でのイベント開催(8月9日)

原市団地の店舗型サテライトラボにて、学生の学外活動の支援と団地の活性化を目的に、芝浦工業大学の学生プロジェクト「candle night」と共同で、キャンドルイベントを開催した。また「candle night」の他にも、「ギターアンサンブル」や「珈琲研究会」など、芝浦工業大学のサークルも参加して頂き、BGMの演奏やコーヒーなどを団地住民に振る舞った。イベントにはたくさんの方が集まり、団地の子供から大人までが楽しんでいた。





○原市団地夏祭りへの参加(8月30、31日)

昨年に引き続き原市団地で行われたお祭りに参加した。今回は、昨年より多くの学生団体に参加してもらい、より多くの学生に学外活動の支援をしようと考えていた。そのため6月の初め頃には様々な団体に声をかけ、その結果4つの団体に参加してもらうことができた。

1日目はそれぞれの団体が、ゴスペルの披露、ジャグリングの披露やバルーンアートの販売などを行ってもらった。また両日ともに団地住民との交流を行ったことで、お祭りを盛り上げることができた。その結果、各団体への学外活動の支援と本プロジェクトとしても他団体との繋がりを作ることを新たに作る事ができた。

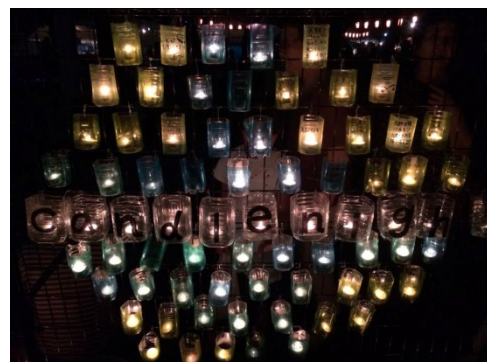
～Shangri-La～

パフォーマンスの披露とバルーンアートの販売



～candle night～

手作りキャンドルの販売とキャンドルイベント



～S.I.T.GOSPEL～

パフォーマンスの披露



～International Communication Project～

お祭りのお手伝いと団地の方との交流



2、団地住民と学生のつながりづくり

○原市団地サテライトラボの開放(8月4日～8月22日)

8月4日から22日までの3週間、団地に住む子供を対象としたサテライトラボの開放を行った。現在、大学の団体や自治会の会議以外の時間は利用者がいないため、サテライトラボの事を団地住民にもっと知ってもらい、またサテライトラボで小学生の夏休みの宿題のお手伝いができないかと試験的に実施した。期間中は毎日、数人の方がサテライトラボを訪れてくれたが、パソコンやデジカメなどの使い方を聞きにくる高齢者の方が中心だった。今後は小・中学校との連携についても検討し、団地の子供たちにサテライトラボを知ってもらい有効に利用してもらい必要がある。

今回は夏休み中の試験実施だったが今後は子供を対象にするだけでなく、団地に住む幅広い世代の方に気軽にサテライトラボを訪れてもらえるように定期的にサテライトラボの開放を行っていく。



○ウォーキング活動支援

昨年度から引き続き、介護を必要とせず健常で自立した生活を送る高齢者を増やすために、高齢化が進む UR 住宅団地(原市団地、尾山台団地)を対象に外出促進させるためウォーキング活動の支援を行っている。

昨年度の活動になるが、5月には芝浦キャンパスで行われる大宮祭に招待し、普段自分たちが通っているキャンパスを案内した。その結果、参加した方からは普段来る機会はありませんとのこと、とても喜んでくれた。

～活動概要～

日程	活動内容
5月18日	芝浦工業大学大宮キャンパス(文化祭見学)
6月20日	緑のヘルシーロードを往く
7月18日	古代ハス鑑賞とお茶会

今後の活動計画、目標、意気込みなど

本プロジェクトの後期の活動として、前期と同様「学生の学外活動の支援」、「団地住民と学生のつながりづくり」の2つを継続して行っていく。

○定例イベントの開催

前期で行ったキャンドルイベントのような、団地を活性化させるようなイベントを定期的に行うことで、学生の学外活動の支援と共に団地住民との繋がりも形成する。

○芝浦工業大学の授業との連携

学部生と院生の授業の一環として原市団地の周辺環境または住民活動を取り上げていただき、その中で、学部生や院生に対してプロジェクトの目的・意味を伝え周知、発信を行う。

○教室企画

夏休み中に試験的に実施したが、店舗型サテライトラボを解放し、今後、数理科学科の学生には団地に住む子供たちに勉強を教えたり、本学の留学生が語学や文化を教えるなどして交流機会を増やすことで、学生に学外活動の支援を行う。

○ウォーキング活動支援

引き続きウォーキング活動を行い、UR 住宅団地高齢者の方々に外出促進を呼び掛けていくとともに、健康状態維持の支援を行う。

○本プロジェクトの広報活動

大学や団地内でまだ本プロジェクトの周知が十分ではないため、SNSを使った学生への呼びかけや、団地内でポスターの掲示などを継続して行う。また他団体との交流の場を設け、他団体との繋がりをより深める。